



Kyoto SeeL通信



新年のご挨拶

公益財団法人京都府生活衛生営業指導センター 代表理事 **山岡景一郎**

皆様には、ご健勝で輝かしい新年をお迎えるの
と心からお慶び申し上げます。また、平素から生活
衛生営業指導センターの業務運営につきましては、
格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、まず最初に思い出される
のは、大阪府北部地震、北海道胆振東部地震と大き
な地震があり、京都でも7月豪雨に、台風20号、
21号、24号と立て続けに大きな台風に見舞われ、
京都にも大きな傷跡を残しました。毎年思うことな
のですが、日本は災害の多い国ではあったけれど、
このように大きな被害が今までにあったかなと思
います。災害に対する備えも重要なのですが、今年
はぜひ災害の少ない年であることを祈るばかりです。

さて、今年5月には、新しい元号となります。今
年は、改元が決定しているという点でいつもとは少
し違った気持ちで新年を迎えました。

大正が過ぎ、昭和の時代となり明治100年にあ
たる昭和40年代、「明治は遠くなりけり」という言
葉がよく使われたことがあります。こんどは、平成
の次の新しい元号を迎えることとなると、まさに
「昭和は遠くなりけり」です。

生衛業も、昭和前半における衛生状態は、まだ
だであったかと思いますが、法整備がおこなわれ現
在の衛生状況は格段によくなり、不衛生な時代を
知らない人々が多くなり、我々と関係のある衛生
法規

の規制緩和も言われており、時代が変わってきて
いることを実感しています。

このような中、日本は世界のどの国も経験したこ
とのないほどの人口急減・超高齢化に直面しており、
この少子高齢化問題は、経済、地域社会、社会保
障などあらゆる面で問題が想定され、人手不足にあ
えず業界では、事業継続の維持にも支障を来すこ
が考えられ、現在、外国人労働者受け入れ拡大に向
けた入管法改正案が審議されていますが、人手不足
の事業者側からは歓迎する声がある反面、どのよ
うな影響を受けることになるのか、生衛業界でも、
将来への不安を口にしている人々がいるのも事実
です。

さらに、収益力の向上や年々増加する外国人旅
行者への対応、10月に予定されている消費税の増
税・軽減税率への対応など、皆さんにとっても時
代の変化に対応していくため頭を悩ますことの大
多くなるかと思えます。

当指導センターにおきましても、皆様のサポー
ト機関として生衛業が更に発展していくよう共
に考えさせていただきたく思っております。

今年も色々な事があると思いますが、引き続
きのご支援とご協力をお願いいたします。

結びに、ご家族皆様のご健勝とご多幸、ご
家業の繁栄を祈念いたしまして、新年のご挨拶
とさせていただきます。



謹んで新春の

お慶びを申し上げます

公益財団法人京都府生活衛生営業指導センター

理事長 (代表理事) 山岡景一郎 社交料飲

副理事長 佐竹 力總 料理

副理事長 三嶋 吉晴 麺類飲食業

専務理事 森田 朗 指導センター

常務理事 宇治田脩孟 寿司

常務理事 中西 三郎 興行

理事 下村 公隆 京都府

理事 西原 和美 京都市

理事 西堀 慎介 理容

理事 阿部 弘 クリーニング

理事 中井 義昭 公衆浴場業

理事 小野 善三 旅館ホテル

理事 森村 義明 食肉

理事 奥田 英一 美容業

理事 河原 昭雄 食肉肉類業

理事 浅沼 健夫 喫茶飲食

理事 武田 淳一 中華料理

理事 牧野 順二 飲食業

監事 粟津 暢彦 美容業

監事 武原 賢三 飲食業



「新たな京都へ」

京都府知事 西脇 隆俊

府民の皆さま、あけましておめでとうございます。

昨年4月、府民の皆さまからのご信託を賜り、京都府開庁から150年目の年に、第51代京都府知事に就任させていただきました、西脇隆俊です。

知事就任にあたっては、「現場主義を徹底すること」「前例にとらわれないこと」「連携すること」を職員に指示し、6月には「将来に希望の持てる新しい京都づくり」に向け、「安心で暮らしやすい社会の構築」「京都産業の活力向上」「スポーツ・文化力による未来の京都づくり」を重視した肉付け予算を編成して、府政をスタートさせました。

しかし、その直後には、6月の大阪府北部地震や7月の豪雨、9月に入ってから台風21号や24号、それに伴う強風被害や大雨など、次々と自然災害が襲いかかりました。改めて、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、被害に遭われた皆さまにお見舞いを申し上げます。

京都府では、災害後、直ちに補正予算を計上し、復興、復旧に向けた対策を講じるとともに、府民の皆さまの安心・安全を守るため、災害対応の検証を行い、先進的な防災・減災対策や治水対策、危機管理体制の強化充実など、地域防災計画の見直しを進めているところです。

一方で、昨年は、2020年のNHK大河ドラマが、京都ゆかりの明智光秀を主人公とした「麒麟がくる」に決定したことや、京都大学の本庶佑特別教授がノーベル生理学・医学賞を受賞されるなど、歴史や文化、学術のまち京都にとって、大変喜ばしい出来事も多くありました。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催や、2021年度中とされる文化庁の全面的な京都移転、そして2025年国際博覧会（万博）の大阪・関西での開催を控え、日本そして京都への世界からの注目度は、今後ますます高まります。このチャンスを逃すことなく、本年9月に開催されるICOM（国際博物館会議）京都大会等においても、京都府内各地の多様な文化資源を

アピールし、「日本の文化首都・京都」を世界中に発信してまいります。

今、国内外から多くの観光客が京都を訪れています。2017年の観光入込客数は約8,700万人、外国人宿泊客数は約360万人、観光消費額も過去最高の約1兆1,900億円を記録しました。しかし、それらの多くは京都市内に集中しています。

京都縦貫自動車道の整備や新名神高速道路の新区間開通によって、南北のアクセスは格段に向上しました。鉄道やバスの利用も含め、海・森・お茶の京都、竹の里・乙訓といった「もうひとつの京都」への周遊を促すことが重要です。観光客の満足度の向上や観光地の広域連携等を盛り込んだ「京都府観光総合戦略」を策定し、府内各地に効果が波及するよう取り組みを進めてまいります。

今年の3月には、「京都経済センター」がグランドオープンします。京都府・京都市・京都経済界が「京都経済百年の計」として力を結集し、京都経済の発展を支える拠点になるものです。このセンターを核に、オール京都体制で産学官の連携や人材育成、生産性の向上に一層取り組んでまいります。

こうした明るい未来に向かって、様々な取組を推進する一方で、私たちの足元には、乗り越えなければならない課題が山積みとなっています。日本は、少子化・高齢化がますます進展し、本格的な人口減少社会に突入することは避けられない状況です。東京への一極集中も依然として続いており、地域コミュニティが弱体化する中、労働力不足も深刻です。

私は、そうした課題に臆することなく立ち向かい、全ての世代の皆さまが暮らしやすい社会の実現を目指した「子育て環境日本一」の取組等を通して一つ一つの課題解決に努めてまいります。

さらに今年は、天皇陛下が4月30日に御退位され、皇太子殿下が5月1日に御即位されます。現在、策定を進めている京都府の将来構想及び基本計画となる「新総合計画」では、新しい時代に対応した「夢のある将来ビジョン」を掲げ、次代を担う子どもたちが希望をもち、未来へのロードマップを描いてまいります。府民の皆さま、「新たな京都」に向けて共に歩みを進めてまいりましょう。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



輝かしい時代のスタートを京都から

京都市長 門川 大作

あけましておめでとうございます。

昨年は、地震や豪雨、度重なる台風等に見舞われ、自然の脅威を思い知らされる一年でした。京都市でも、長期の停電、家屋や文化財・公共施設、農林、道路などに大きな被害が発生。しかし、尊い命は守られました。これは、消防団や水防団、自主防災会等の皆様の御尽力があればこそ。御尽力いただいた全ての皆様に心から感謝申し上げます。これらの災害をしっかりと総括し、今後の安心安全のまちづくりへ教訓としてまいります。改めて京都の「地域力」「人間力」を目の当たりにし、困難を乗り越えて更なる発展を遂げる「レジリエント」なまちの真髓を見出した思いです。これらの「京都力」を地域における子どもたちの学び、育ち、高齢者や障害のある方が生き生きと命を輝かせるまちづくりへ、共に生かしてまいります。

そして本年、京都のまちを更にパワーアップさせる機会が目白押しです。京都経済百年の計「京都経済センター」の開設で、中小企業・地域企業を元気に！JR「梅小路京都西駅」の開業、日本初開催となる「国際博物館会議（ICOM）京都大会」、市美術館のリニューアルオープンも来年度中に、5年連続で保育所待機児童ゼロを達成した子育て支援、指定都市トップとなった市立小学生の学力など成果を確認し、更なる充実へ。福祉、環境、景観、安心安全、伝統産業等の振興につながる観光、町家の保全、持続可能なまちづくりなど、引き続き市民の皆さんと共に汗する「共汗」で、全力投球してまいります。

ラグビーワールドカップ、東京オリ・パラ、そして2021年には世界最大の生涯スポーツの祭典「ワールドマスターズゲームズ関西」、さらに機能強化した新・文化庁の京都への全面的移転が控えています。2025日本万国博覧会（大阪・関西）の開催も決定！これらを機に、文化の力を市民の皆さまの豊かさにつなげ、持続可能な社会を目指すSDGs（「誰一人取り残さない」を理念に国連が掲げる17の取組目標）の達成にも貢献していく決意です。平成に続く新たな時代が幕を開ける本年。京都が世界の人々の幸せと平和に貢献すべく、共々に。

皆様のこの一年の御多幸をお祈りします。

栄えある受賞おめでとうございます
平成30年度生活衛生功労表彰受賞者 (敬称略)

厚生労働大臣表彰者

旅館ホテル	小野 善三
飲食業	牧野 順二

中央会理事長表彰者

公衆浴場業	吉本 誠
喫茶飲食	山田 喜久夫
中華料理	松下 貞幹

知事表彰者

公衆浴場業	岡崎 泰昌	食鳥肉販売業	上田 行廣
旅館ホテル	柏 和實	寿司	三宅 良成
食肉	笠置 庄三	料理	左 敏泰
美容業	栗津 暢彦	飲食業	本城 忠宏
麺類飲食業	和田 浩成		

協議会会長表彰者

クリーニング	十二里 進	麺類飲食業	藤本 恵一郎
公衆浴場業	松村 実	麺類飲食業	堀部 和宏
旅館ホテル	石間 太郎	寿司	榎本 倫夫
旅館ホテル	村岡 正浩	飲食業	四方 幸廣
食肉	坂本 秀史	飲食業	本村 哲朗



◆ **生活衛生営業経営研修会** (平成30年11月27日)

『新しい収益事業の進め方 -おたべを出発点としてテーマパークなどへの進出-』
 講師：株式会社 美十 顧問 酒井 英一 氏

世の中が変化していく時には常識も変わっていくように、時代の変化に合わせて業界の常識を変えていかなくては今以上の発展はないこと、業界の伝統と歴史を念頭におきながら、10年先、20年先を考えて常に新しいものにチャレンジしていく必要性についてお話いただきました。



指導センター事業開催報告・お知らせ

◆ 第38回京都SeeLフェア (平成30年10月28日)

京都市上京区・平安女学院において開催しました。今年度は好天に恵まれ、各生衛組合がそれぞれに工夫を凝らした飲食・販売や展示を行う「SeeLプロの個性派屋台」、理容組合による「理容師によるフェイシャル美容法」、クリーニング組合による「プロが教える家庭アイロン仕上げのコツ」、麺類組合による「そば打ち実演ショー」、各生衛組合・指導センター提供のお楽しみ抽選会などにより、生衛業への理解を深めてもらう交流の機会とすることができました。



◆ 後継者育成支援事業 職場体験授業 (平成30年11月8日～10日)

理容・興行・旅館・美容・麺類・寿司・喫茶・料理各組合 全19店舗／平安女学院中学校

掃除・挨拶の仕方、来店されたお客さまへの接客や配膳などに取り組んでいただきました。働くことの難しさやコミュニケーションの重要性などの学びを通して意義ある体験授業となりました。

◆ クリーニング業務従事者講習 (平成30年11月18日)

京都市中京区・ハートピア京都において開催しました。クリーニング業法に基づく条例や感染症対策、平成27年10月1日より施行された「改訂クリーニング事故賠償基準」を基に消費者に対しての注意義務や責任などについてのケーススタディや平成28年12月1日から適用となった「繊維製品の取扱いに関する表示記号及びその表示方法 JIS L 0001」のポイントを中心に、業界が消費者から求められている諸問題について受講いただきました。



◆ 後継者育成支援事業 出前授業 (平成30年11月30日)

寿司組合 京都市立洛風中学校

業界を代表する職人を講師に迎え、仕事に対する向き合い方についての講義や質疑応答、巻きや握り寿司の実演実習を通して、生衛業の一層の理解を深めてもらう機会となりました。



● 無料税務相談会

日時 平成31年3月6日(水)・7日(木)
13:00～16:00
※事前予約制(一人1時間まで)
場所 京都府生活衛生営業指導センター
申込先 当センターへご予約ください。
TEL 075-722-2051

確定申告時期の直前に開催します！
ご予約はお早めにお願いたします。



平成30年分 国税庁

確定申告 ネット申告が更に便利になりました!

詳しくは「確定申告」検索

スマホでも申告できます

マイナンバーの記載+本人確認書類の提示又は写しの添付が必要です

申告と納税 3月15日(金)まで

確定申告書の作成に当たっては、「復興特別所得税」の記載漏れのないようご注意ください。



Sマークは、安全・安心・清潔の目印です。

標準営業約款登録日 平成31年2月1日(金)



[会議・研修会等]

- 第4回景気動向等に関するアンケート調査 (平成31年1月～3月)
- 第4回生衛業経営状況調査 (平成30年10月～12月期)

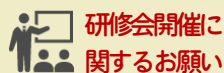
提出期限 平成31年2月4日(月)

- 衛生水準の確保・向上事業推進会議

日時 平成31年2月12日(火) 15:00～
場所 京都ガーデンパレス

- 後継者育成支援講演会

日時 平成31年2月25日(月) 14:00～
場所 平安女学院 明治館
演題 「唐紙の美 400年のひととき」
講師 唐紙師 トトアキヒコ 氏



平成30年度中に経営や衛生等に関する研修会の開催を予定されている生衛組合は、お早めに当センターまでご連絡をお願いいたします。

Kyoto SeeL通信

Vol.196 2019 Winter

編集・発行人

山岡景一郎

公益財団法人
京都府生活衛生営業指導センター

京都市左京区田中西樋ノ口町90
TEL 075-722-2051
http://www.kyoto-see.com/

Homepage

Facebook

